

ヨハネによる福音書 21 章 1～14 節

21 ¹その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された。その次第はこうである。²シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。³シモン・ペトロが、「わたしは漁に行く」と言うと、彼らは、「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。⁴^{すて}既に夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。⁵イエスが、「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。⁶イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。⁷イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸同然だったので、上着をまとして湖に飛び込んだ。⁸ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。⁹さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。¹⁰イエスが、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と言われた。¹¹シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。¹²イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちはだれも、「あなたはどなたですか」と問いたそうとはしなかった。主であることを知っていたからである。¹³イエスは来て、パンを取って弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。¹⁴イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。